エス　ディー　ジーズ

SDGsって？

サステナブル　ディベロップメント　ゴールズ
Sustainable Development Goals
持続可能な開発目標

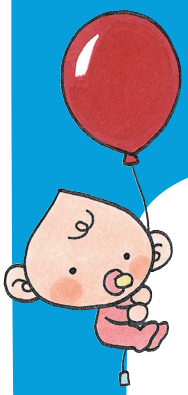
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsを理解して できることから始めてみよう！

SDGsとは

SDGsは、2030年までに達成すべき世界共通の目標として、2015年に国連で採択されました。「世界中の誰一人取り残さない」をキーワードとし、貧困、福祉、教育、人権、環境など、様々な分野の目標が設定されています。

「世界の話で私たちには関係ない」と思われるかもしれませんが、17個の目標の中には私たちの生活と密接に関係しているものが多くあります。

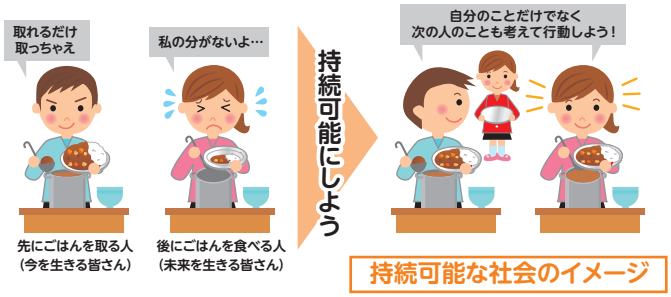


南砺市

持続可能な社会を考えよう

持続可能な開発とは「将来の世代の欲求を満たしつつ、現代の世代の欲求も満足させるような開発」とされています。「自分だけが良ければ」「今が良ければ」といった考えや行動は、持続可能とは言えませんよね。

今だけでなく未来のこと、また自分だけでなく次の人や自分の子ども・お孫さんのことを考えて行動することが、みんなで暮らし続けられる、持続可能な社会につながります。



持続可能な社会のイメージ

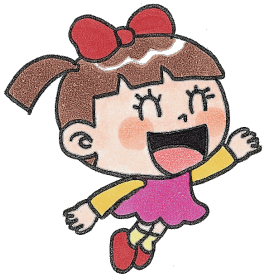
どうして南砺市でSDGs??

南砺市では、人や物、自然、文化、資金などの地域資源の循環を進めながら、地域が自立して維持され、住民が暮らし続けられる“一流の田舎”を目指し、2013年から「エコビレッジ構想」に取り組んできました。「エコビレッジ」とは、自然と共生し、環境への負担が少ない暮らしのことです。地域の自給率と自立度を高めて、みんなが安心して暮らせる「持続可能な社会」の構築を目指しています。

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指すための目標であり、南砺市がこれまで取り組んできた施策と同じ方向を目指しています。

そこで、SDGsに取り組むことで、南砺市の取組が国際的な目標につながっていることをみんなで意識し、「誰ひとり取り残さない　誰もが笑顔で暮らし続けられるまち」づくりにつなげようとしています。

南砺市は2019年、SDGs未来都市に選定されました



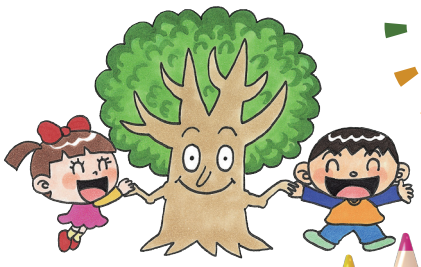
SDGs未来都市とは？

SDGsの達成につながる取り組みを国（内閣府）に提案し、優れた内容であると選定された自治体のことです。また、南砺市の取り組みは持続可能な開発を実現する可能性が高く、地域における自律的好循環が見込めるとして、国の「自治体SDGsモデル事業」にも選定されています。

南砺市とSDGs

南砺市では、小規模多機能自治の導入や南砺幸せ未来基金の設立、再生可能エネルギーの活用など、従来から持続可能なまちづくりに取り組んできました。これらの取り組みが評価され、SDGs未来都市に選定されました。

南砺市ではSDGsの理念を取り入れ、今後も経済・社会・環境の３側面の調和がとれた持続可能なまちづくりを推進していきます。



SDGs達成に向けた南砺市での取り組み

コミュニティファンドの創出「南砺幸せ未来基金」

南砺市を活動範囲とするコミュニティ財団で、地域が行う課題解決に向けた取り組みへの資金支援や事業構築のアドバイス、地域内資金循環の調査・研究などを行っています。

「頑張る人・地域応援事業」や「休眠預金等活用事業」では、暮らしを支える取組みや子ども・若者・高齢者・障がい者を支える事業などに対して資金的な支援を実施。支援は基金の活動に賛同する個人や企業、団体からの、想いのある寄付で支えられています。

3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

住民自治の再構築「小規模多機能自治」

地域ごとに異なる課題を地域自らが解決し、持続可能な地域づくりを進める基盤を整備するため、住民参加による自治組織の形成を推進しています。ECOステーションの設置や除雪のサポート、地域の魅力発信など、地域に応じた特色ある取り組みを実施しています。

3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

森林資源エコシステム構築事業

森林資源を有効活用するため、間伐材などを使ってペレットや薪を製造しています。

エコシステムの構築を契機に、林業の再生を図るとともに山林の荒廃を改善し、さらなる森林活用と新規就労の場を創出しています。また、市内におけるエネルギーの地産地消を促進し、地域経済の循環につなげています。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさも守ろう

森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」

世界的に問題となっているマイクロプラスチック等による海洋汚染問題について、海岸漂着物が山から川、海へとつながる水の流れを通じて発生することを上流域の住民に啓発しています。

また、小矢部川流域の行政、関係団体で構成する富山県海岸漂着物対策推進協議会小矢部川流域部会において、海岸漂着物の発生抑制に向けたアクションプランを策定し、取り組みを実施しています。

13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさも守ろう

なんとSDGsパートナー

SDGsのゴール達成につながる取り組みを南砺市内で実施する企業、団体などを「なんとSDGsパートナー」として登録しています。これにより、市内でSDGsに取り組んでいる方が見えるようにしています。また、取り組み事例の横展開を通じて、普段の行動や既に実施していることなどがSDGsにつながっていることの“気づき”につなげています。

なんとSDGsパートナー

17 パートナーシップで目標を達成しよう

最新のなんとSDGsパートナーはこちらから
(新規登録も受け付けています)

未来の南砺市のためにみんなでできる取り組み

1 貧困をなくそう	フードドライブ活動に参加しよう
2 飢餓をゼロに	地元の農産物を購入しよう
3 すべての人に健康と福祉を	規則正しい生活を心がけよう
4 質の高い教育をみんなに	図書館へ行ってみよう
5 ジェンダー平等を実現しよう	家事は家族みんなで役割分担をしよう
6 安全な水とトイレを世界中に	水の出しっぱなしはやめよう
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	電気をこまめに消そう
8 働きがいも経済成長も	ワークライフバランスを実践しよう
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	新しい技術に関心を持ち、使ってみよう
10 人や国の不平等をなくそう	相手を大切にする気持ちを持とう
11 住み続けられるまちづくりを	災害などの際に助け合えるよう、地域の絆を深めよう
12 つくる責任 つかう責任	食品は食べられる分だけ購入しよう
13 気候変動に具体的な対策を	公共交通を使って移動しよう
14 海の豊かさを守ろう	プラスチック製品の使用を控えよう
15 陸の豊かさも守ろう	自然や生き物を大切にしよう
16 平和と公正をすべての人に	友人や同僚と仲良くしよう
17 パートナーシップで目標を達成しよう	SDGsの達成に向けた取り組みやイベントなどに参加しよう

身近なことからやってみよう！

未来のために、できることから始めよう

2030年の“こんな地域や世界だったらいいな”を書いてみよう

その理想を実現するため、あなたにできる行動を書いてみよう

関連するSDGsのゴール：

お問合せ

南砺市エコビレッジ推進課　住所 南砺市荒木1550　電話 0763-23-2050　Mail ecovillageka@city.nanto.lg.jp

SDGs 未来都市 なんと

南砺市のSDGs情報はこちらから

Facebook、Twitterでも情報を発信しています

PRINTED WITH SOYINK

R70 古紙配合率70%再生紙使用